

会 議 録				
平成27年度第8回 社会教育委員の会議	日 時	平成28年1月13日（水） 午前9時30分～10時20分	場 所	小金井市公民館 本館学習室A
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	原嶋議長、柴田副議長 古家、北村、石田、城、長坂、小山田、佐野、原田 各委員		
	事務局	西田生涯学習部長、石原生涯学習課長、上石図書館長、前島公民館長 小堀生涯学習係長、伊東生涯学習係主事		
	その他	株式会社ぎょうせい		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 協議事項				
(1) 第7回社会教育委員の会議会議録の承認について				
(2) 第3次小金井市生涯学習推進計画のパブリックコメントについて				
(3) その他				
2 報告事項				
(1) 平成27年度成人の日記念行事の結果について				
(2) 第3次子ども読書活動推進計画（案）のパブリックコメント結果について				
(3) その他				
<p>(原嶋議長)</p> <p>おはようございます。今日は全員おそろいということですので。 改めて、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。 それでは、この次第に従って進めさせていただきます。 配付されたものは、それぞれお読みしていただければと思っております。</p> <p>(事務局)</p> <p>では、事務局のほうから配付資料の確認をさせていただきます。</p>				

まず、1枚目が本日の次第になります。

もう1枚目が「第3次小金井市生涯学習推進計画（案）に対する意見」というもので、片面刷りが2枚、①から④まで印刷されたものがあります。

その次が原嶋議長につくっていただいた「2つの研修大会の報告」というもの、A4片面刷りで、下にカレンダーがついているものが1枚あります。

次に、委員さんだけの配付資料になりますが、紫色のチラシで多摩共助フェアのチラシが1部ございます。その次にピンク色の紙で子ども・若者の地域の居場所づくり講座というチラシがございます。その次がハナミズキというもので、冊子のものが1部ございます。次に、月刊公民館が2部あります。水色の封筒で黄金井倶楽部から委員さんのお名前が書いてある表が配られているかと思います。

配付資料は以上になります。

（原嶋議長）

不足のものはありますか。

では、なければ進めさせてください。

## 1 協議事項

（1） 第7回社会教育委員の会議会議録の承認について

（原嶋議長）

協議事項の（1）第7回社会教育委員の会議会議録の承認について。

（事務局）

去年の年末に第7回社会教育委員の会議の会議録を委員さんにメールで送信させていただきました。校正などの連絡があった委員さん、ありがとうございました。特に異議がなければ承認させていただきたいと思います。

以上です。

（原嶋議長）

委員さんに承認を受けるのですか。

（事務局）

そうです。その後、ホームページなどにアップさせていただきます。

（原嶋議長）

送られた会議録のキャッチボールをやったと思いますけれども、承認していただいてよろしいですか。

（「はい」と声あり）

（原嶋議長）

よろしく願いいたします。

(2) 第3次小金井市生涯学習推進計画のパブリックコメントについて

(原嶋議長)

その次に移ります。(2)第3次小金井市生涯学習推進計画のパブリックコメントについてです。

次のページをあけてください。

実は、私からこういうものがあつたら提供してくれないかと急いできのう事務局にお願いして、今日、プリントアウトしていただいたわけです。きのうの夕方の時点で私ものぞいてみたのですが、先週の金曜日が最終締め切りですから、結論を言いますと、まだ。課長さんや図書館長さん等々の質問が多いのですが。金曜日の段階で締め切りですので準備は厳しいと思います。

4つありますけれども、後でゆっくりお読みいただければと思いますが、①は図書館の関係のこと。それと、④の方の文章はほぼ同じような御意見でありました。個々は個々としていいのですけれども、これらに対して丁寧に対応していくということで最終的にはよろしいですか。西田部長さん、こういうコメントに対しては。

(西田生涯学習部長)

生涯学習推進計画は、社会教育委員で考えていただいているものですから、検討されてきているものです。募集は教育委員会の名前でやっているということは、最終的には皆様方の意見を取り込んで、教育委員会としての発表であるという形になります。

(原嶋議長)

こういう意見を出された方は、情報公開を求めたら何月何日までに開示できますよと。

(西田生涯学習部長)

そういうことではないです。個別的な回答はしませんということになっていますので、あくまでもいただいた意見に対して教育委員会として、総体としてどのような回答を出すかを考えていきます。皆さんもそれは承知で聞いてきていますので。

(原嶋議長)

ということは、この意見を述べられた方が生涯学習部にいらっしゃって、こういう見解ですという御説明は場合によっては。

(西田生涯学習部長)

基本的にそういう場面を想定しているわけではありません。

(原嶋議長)

それもないわけですね。

(西田生涯学習部長)

もちろんやってこられて、何で私の質問にこういう答えなんだと言われれば答えま

すけれども、基本的には公開するのはあくまでも聞かれたので質問に対してこういう回答をさせていただきますという形です。

(原嶋議長)

わかりました。

今日お渡しして、今日お読みになる方が多いと思いますので、これで話し合いましょうというのはかなり困難な話になると思います。これとプラスこの期間、こういったような重点プロジェクト等をまたお読みになられて、改めてこの点はどうなのか。あるいはこの意見を参考にしてもう少し充実したものができるのだろうかということ、次回になってしまうと思いますが、進め方としてその辺はよろしいですか。

(事務局)

会議としてはもう一回あるのですけれども、ただ、3月いっぱい全部印刷を終えてというところが最終的なゴールになっておりますので、実際、原稿のほうは2月19日に検討いただくよりは、もう少し早い段階でこちらのほうでもまとめていったものを皆さんにお見せするという形になるかと思うのですが。

(西田生涯学習部長)

では、こういう形でどうでしょうか。今、確かに原嶋議長がおっしゃられたとおり、市の中で実際にできることとできないことにかかわるような質問も入っていると思うのです。努力によってできるものも当然あると思うのですけれども、物理的に不可能なこととか、そういうより分けができていない状況。先ほど議長から御説明いただいたように、8日締め切りで、おとといが成人式ということで、ちょっとばたばたしていましたので、ここの検討に入っているというのは現実的にはなかなか難しかったところもありまして、今日は皆さんに見ていただいて、市のほうでとりあえずこのような感じで回答を出したいというたたき台みたいなものをつくって、皆さんにメール等でお知らせをさせていただいて、それに対してまた御意見をいただき、これは市の努力で何とかできるのではないのでしょうかみたいなものがありましたらいただく中で、そのやりとりでやらせていただくというしか多分ないかと。集まれる機会がないということもあるようです。今日お渡しして、今日中にこれの結論を出せということも難しいと思いますので、そういうやり方でまとめさせていただくという手もあると思うのですけれども、いかがでしょうか。

(原田委員)

パブリックコメントと我々社会教育委員の関係について質問なのですが、生涯学習推進計画の案については、前回のこの会議でかなり長時間をかけて各項目の議論したという記憶があります。その議論を踏まえてパブリックコメントに出す案をおつくりになると説明を受けています。したがって、既に案の中には我々社会教育委員の意見は反映されていると私は理解しております。その上で、パブリックコメントと

というのは、社会教育委員に求めたものではなくて、市民全体に求めたものですから、パブリックコメントを集めた後どうするかというのは、ちょっと我々の会議の手を離れるのではないかという印象を持ったのですけれども、その理解は間違いでしょうか。

(西田生涯学習部長)

パブリックコメントということについてですけれども、策定途中の生涯学習推進計画(案)に対する意見ですから、ぜひこの部分を取り入れてほしいという意味で市民は意見を出してきているということでございます。ですから、そういう意味でいいますと、生涯学習推進計画をつくり上げる上での一つの過程であると考えられると思いますので、既に社会教育委員の手は離れているというのもちょっと極論ではないかなというふうには感じております。

我々教育委員会といたしましては、最終的に社会教育委員の中でもんでいただいた案をもとにパブリックコメントをとって、さらにパブリックコメントで出てきた案を社会教育委員の皆様にも披瀝をして、その御意見も伺いながら回答案を考えて、それで最終的なものをつくり上げていくという形になるのではないかと考えております。

(原田委員)

わかりました。

(原嶋議長)

ほかにありますか。

(原嶋議長)

ほかによろしいですか。

まとめることがうまくいかないかもしれませんけれども、いずれにしても、この情報につきましては、きのうメールで送られても開かない場合がありますので、委員の方はお読みください。

課長さんや図書館長さん等々への御質問があるようですので、行政単位の事務局でまずは練っていただいて、メールで発信していただく。それで、我々とキャッチボールする。最終的にはまたここで話し合っ、こういう方向でいこうということで確認していただけますか。

(原嶋議長)

これはどんどん広げてしまうと意見になってくるので、この辺でどうですか。私もしゃべろと言われればしゃべりますけれども、ちょっと抑えていきたいなと思います。まずは土台をいただきたいなと。必ずやここでまた、いわゆる完成途上であるということを確認していただきたいということで、そこでまた来月、お話し合いを持ちたいと思っていますので、今みたいな忌憚のない御意見を発信していただければと思っています。よろしくお願いします。

それでは、これは終わります。

(3) その他

(原嶋議長)

その他、協議です。何かありますか。

(「ありません」と声あり)

(原嶋議長)

よろしいですか。

## 2 報告事項

(1) 平成27年度成人の日記念行事の結果について

(原嶋議長)

それでは、報告事項(1)です。

(石原生涯学習課長)

それでは、1月11日に開催しました成人の日記念行事につきまして、社会教育委員の皆様にも多く御出席いただきまして、ありがとうございました。

出席者数の御報告をさせていただきます。昨年11月時点で案内状の送付をさせていただいた対象の成人の数は1,202名の方でした。おととい1月11日は667名に御参加いただいています。ただ、市外の方も市内の方と同級生などで参加をすることについては全く認めていないということではございませんので、市外の方も46名に御参加いただきまして、市内の方は1,202名中621名、出席率といたしまして51.7%の方に御出席いただきましてごさいます。

雑駁ですが、成人式の報告は以上です。

(西田生涯学習部長)

御出席いただきました社会教育委員の皆様、ありがとうございました。

(原嶋議長)

出席された委員の方で何か御感想はありますか。よろしいですか。

(2) 第3次子ども読書活動推進計画(案)のパブリックコメント結果について

(原嶋議長)

それでは、その次に行きましょう。第3次子ども読書活動推進計画(案)のパブリックコメント結果について。

(上石図書館長)

図書館館長です。

それでは、第3次子ども読書活動推進計画(案)のパブリックコメント結果につい

て、口頭で御報告させていただきます。

実施期間が平成27年11月20日から12月20日まで1カ月ございました。結果として、3人の方から4件の御意見をいただいております。いただいた御意見の中身ですけれども、計画の内容に関するものが2件、文言の修正に関するものが2件となっております。今後、御意見に対して検討し、図書館協議会にお諮りしていく予定となっております。1月25日月曜日が図書館協議会の開催ですので、そのときにまたお示しすることになっております。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

何か御質問ありますか。

(3) その他

(原嶋議長)

なければ、その他。

私のほうが4枚目になりますが、レジュメ、2つの研修大会の報告ということで、極めて簡単に書きました。また、この研修会に御参加くださった方、ありがとうございます。私みたいに社会教育云々というものを余り知らない者についてはこういう研修はかなり勉強になります。また、御存じである方は、グループごとに分かれての話し合いが結構多いのです。そのようなところでいろいろ御指導、御助言をいただければと思っております。

11月28日、もう随分前ですけれども、第5ブロック。これは年に1回あるようです。中学生の居場所についてということでやりました。中学生ということで限定されての話し合いがありました。先ほど言いましたように、グループ討議、発表、まとめ、これが1つのパターンなのかなと思います。

その次に、5日は第27回東京都市町村社会教育連絡協議会交流大会。保谷で行われました。

テーマは「学び、行動する市民が創造する循環型の地域学習社会をめざして」。これが平成27年度の我々市町村における大テーマであります。循環型というのはよく使われているようなことですね。第1部が主に交流大会においてブロック研修会実施報告なので、12月5日に行われたということは、逆算しますと、11月28日はこのために急遽行ったということで、狛江市も大変だったのかなと推測します。それぞれブロックのテーマのもとで話し合われて、この発表がありました。第2部は金藤さんの講演があったりして、あとは発表された5名とパネルディスカッションがありました。私もかなり参考になった部分があります。

私どもも、この学習の推進の策定が終わりましたら、この前、佐野委員さんが書か

れたように、もし教育委員会のほうから何か指示的な内容でこういうものやってくれということであれば、数は少ないのですけれども、例えば先ほどの中学生の居場所とか、みんな2年間具体的にこれはできるのではないかと見える形の、余り抽象論的なことではなくて、そういうこともやっていくことが大事だなということを1回、2回の研修を受けて考えました。今までは1年半ほとんど推進計画、推進計画で一生懸命やってきたことがあります、小金井市の地べたのところでもこういうこともやっていったらいいのかなと思っております。今日時間があれば、こんなことをやっていきたいというものがあれば披瀝いただければと思っております。

以上です。

2回の研修におでになられて何か。私はばっさり書きましたけれども、感想、その他はありますか。

次に、もしよろしかったら懇親の場を設けたいなということで、あえてカレンダーをつけています。夜に教育委員会さんも交えてやっていきたいので、皆さんとこういう会合を持ちたいなと思っております。日程等につきましては、事務局さん、課長さんとも相談して進めさせていただきます。

こういう会を催すということで、方向性としてはよろしいですか。

日程、場所、話し合いを進めていきたいと思っております。

せっかくお集まりですから、何かほかのことで検討するというので、ほかに教育委員会として何か。

どうぞ。

(西田生涯学習部長)

事務局からちょっとお知らせなのですが、皆さん御承知のことではありますけれども、平成27年12月13日に小金井市長選挙が行われまして、稲葉市長が引退ということになりまして、西岡真一郎新市長が誕生しております。教育長の山本及び私、副市長の川上も含めまして、市長以下の体制については市長がかかわっただけで何もかわっておりませんので、その辺のところにつきましては今までどおり進めていただければと思っております。

そのほか、市長がかわったことによりまして、政策的なものの変更点、その他ということが考えられるかと思っておりますけれども、社会教育関連の話でいいますと、市長の公約の中には、新庁舎を蛇の目の跡地に建てます。その蛇の目の跡地に建てる新庁舎につきましては、複合施設としたい。複合施設の中には福社会館と図書館を建設したいということを申しております。これは、具体的な検討は全くまだされておきませんので、今どうこうというわけには参りませんが、そういうことで、社会教育委員の方の関連としては、図書館の関係、それから福社会館に公民館が現状入っていたというような今の状態です。そういうことを勘案しまして、そういうところでひょっとする

と今後議題といいますか、話題の中に入ってくる可能性がありますので、前もってお知らせをしておきたいと思います。

以上です。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

どうぞお願いします。

(長坂委員)

私も部長が言われたこととお聞きしたいなと思ったのです。お門違いかも知れませんが、この推進計画が市政にどのくらい影響を及ぼすのか。達成率とかということが問題になって、市長がかわったことによってこれがどう変わるのかという影響力の問題を聞きたかったわけです。変えなければいけないのか、変えなくていいのか。そういうことで、ちょっとそのこととお聞きしたいなと思っていただけですけども、それに関連したことを今、部長が言われたので、少しはわかりましたが、補足していただけるとありがたいです。

(西田生涯学習部長)

2つお答えをさせていただきます。

1つは物理的な問題としまして、今から全面的に見直すのは不可能でございます。したがって、第3次計画自体は継承していただくということになるかと思えます。もし市長の方針によって変えなければならないということがありましたら、その場に応じて見直しをかけるという形で推移しないと、これを3月に印刷をするという現状からしますと、難しいと思います。

2つ目といたしましては、今、市長からこの社会教育委員で検討している生涯学習推進計画に対して、スポーツに関しては、西岡市長は、私はスポーツ大好き人間ですから推進してほしいというようなことですか、あと、公民館等の委託を今、実際にはしているのですが、そういう方向性についてはいかがかということについては、それは進めてほしいという話をいただいているだけでございまして、現状、特に大きな変更を要するような要請ですとか、指示ですとか、そういったものは受けていないというのが現状でございます。

以上です。

(長坂委員)

ということは、確認すると、この3次計画は規定どおり進めても大丈夫だということですか。無駄にはならないと。

(西田生涯学習部長)

無駄にはならない。ただしでございますけれども、でき上がった結果として市長がごらんになって、何か時点修正をかける必要があるという判断があれば、その際の社

会教育委員、この期の社会教育委員かどうかわかりませんが、見直しをかけなさいという指示がある可能性は否定できないということはあります。

(長坂委員)

それは時期的にはいつですか。

(西田生涯学習部長)

それはわかりません。ただ、3月までにこれを仕上げるというのは既定路線でございますので、それはそのまま粛々と進めていくという形になろうかと思えます。

見直しはあるかもしれないですし、この計画期間が終わって、次の計画のときにそれを反映してほしいという話になるかもしれないということで、今のところはそういう話は一切出ていないということで御承知おきください。

(長坂委員)

今日のポイントとしては一番重要ではないかなと思っていただけです。どうもありがとうございます。

(原嶋議長)

そのほかよろしいですか。

(長坂委員)

そういうことになれば、てにをはの問題ではないでしょうからね。何ページの何を直せというような話ではなくなりますからね。そういうことを確認しておいたほうが。

(西田生涯学習部長)

そういうことを我々に指示された場合は、ある程度まとまった段階で時点修正をさせていただくか、第4次の推進計画で反映させていただきたいという話をさせていただくことになろうかと思われまます。そうしないと、前期の社会教育委員から綿々と引き継いできました今までの経過が全て無駄になってしまうことにもなってしまいますので、市長も、変えるところは変えるけれども、継承するところは継承すると言っていますので、その辺のところは、これは継承する部分であるよということは、てにをは部分ぐらいの修正だったらあるかもしれませんが、仮にAと言っているところをBに変えなさいという話があった場合には、これはもう一回、社会教育委員を招集して変えなければいけない部分に該当するので、時期の見直し、もしくは時点修正というところで対応させていただきたいので、3月の既定路線については変えないで進めていきたいということはお話するつもりでございます。

(長坂委員)

わかりました。

(石原生涯学習課長)

先ほどの生涯学習推進計画のところで漏れていた話がございます、実は、計画の中でこちらの本編と一緒に概要版という4ページ程度の小冊子をつくることになって

ございますので、そのほうも皆様方でよろしければ、パブリックコメントの対応策と一緒に案のほうもあわせてできた段階で送らせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

(原嶋議長)

先ほど申しましたように、小金井市の地べたの中で、私たち社会教育委員として何ができるかということ、もし教育委員会から何かこういう指示、こういう検討事項をやれということがない限り進めていきたいなと思っていますので、もしよろしかったら、次回、こういうことを考えているのだということがあればまとめて進めていきたいと思っています。

個人的には、何度も言いますように、抽象的なことで終わるのではなくて、この2年間の任期、回数は少ないのですけれども、次に引き継げるような何かの形で反映できたのかなということがあれば進めていきたいと考えています。

もう一つは、どなたかから出ましたように、教育長あるいは教育委員会との会合、これは前期ではできなかつたのです。これは、計画推進ということで、ほとんどこれに忙殺されていたものですから、我々社会教育委員と教育委員会との懇談を持ちたいと考えております。話し合おうといっても、テーマがなければほとんど意味がないわけで、例えば学校と地域はどのように取り組んでいるのか、取り組もうとしているのか。そのようなことの話し合いの視点などもよいのかなと思っています。

ですから、次回はパブコメの対応とこれから私どもみんなが進めていく何かをつくって、描いていきたいと思っています。

議題になくて申しわけありません。

(古家委員)

今の件で質問をいいですか。事務局のほうにも確認というか、質問でもあるのですけれども、これは別に議事録から削除しなくてもいいです。

私は、社会教育委員に去年の4月から、校長会から来ていますので、前任の方が退職されたので、引き継ぐような形で、中途半端な形になったのですけれども、いまいち自分の中で社会教育委員の会議の性格がわからない部分があるのです。それはどうということかといいますと、これは今、原嶋議長がおっしゃったように、第3次推進計画の策定が終わった段階で、次にどうすればいいかということにかかわってくるのだと思うのですけれども、何がわからないかといっていると、社会教育委員の会議の性格として、いろいろなものについて検討をしたり、会議をやったりするような、簡単に言うと諮問機関の1つという性格として考えるべきなのか。それとも、この社会教育委員の皆さんで何かをやるという、言葉は悪いですが、実動部隊というか、運営委員会的なものなのかということのどちらの性格なのかを改めて再確認しておきたいと思っています。

私は、多分前者なのだろうなと思っています。いろいろなところから来ている私たちが集まって、実行委員会的な部分で何かをやるというような性格のものでは多分ないのだろうと思うので、前者なのだろうなと思って、そういうことでこれからいろいろ検討することなのかなと思っていますが、それを教えていただきたいと思っています。

(西田生涯学習部長)

法律上、社会教育法というものがあるのですが、それによると、簡単に言いますと、前者です。実動部隊というよりは、社会教育全般に対しての手法の選択。ただ、いろいろな研修などでもいろいろ発表されている中で、会議とかで教育委員会にこういうことをすべきとかという提言をする背景として、それぞれ個々の社会教育委員の資質としていろいろな現場を知っていないと実際に教育委員会がやるような施策というのはできないだろうから、例えば学校教育の関係者ではなくても、学校に入って、学校ではどういうことが授業で行われていることなのか、課外で行われていることということを知ること必要だとか、その地域ではどういったことが不満ですとか、改善したほうがいいのかという問題があるのかを調査したり、そういったこともした上で提言的なものをやるほうがより効果のある提言ができると研修などではそのような発表がされております。

(原嶋議長)

私はこう捉えているのです。教科書的で申しわけないですが、やはり策定をしていく。これが私たちの基本的な使命だと思います。これがほぼ終わりそうである。先ほどの諮問機関は、教育委員会からお知らせ、あるいはこうやってくれというような、もう一つ、3つ目に研究調査というものが入ったはずなのです。ですから、その辺のところを私のほうで、何かみんなでそういうことができないのかという発想です。

(西田生涯学習部長)

ただ、一つ、小金井市の特徴として科学の祭典というものがありまして、あのときは実動部隊的な、実際に社会教育を普及させるのだというような部分も、これは皆様の発案でそういうようになっているという経緯もあるということでございます。

(原嶋議長)

どうぞ。

(原田委員)

私は、全く何もわからずに去年の秋に研修会に2つ出させていただいて、先ほど古家委員がおっしゃったような疑問を持ちながら、一体、私は何をすべきだろうかと思いつきながら研修に出たら、やはり研修の中ではそういう悩みが出てくるのです。諮問だけやっているのでは委員として全く意味がないのではないかと。逆に実動部隊になるには荷が重過ぎるということで、全国の会議がみんな悩んでいるなと思いました。やは

りそうなのかと思いました。基本的には、先ほど部長がおっしゃったように、法律で決められた役割があるのだろうけれども、せつかくこの会議があるのだから、市の中でいろいろな形で行われている生涯学習を俯瞰して見られる立場に我々がいて、必要なところは諮問されたことと検討してくださいといったことに対して言うだけではなくて、議長が先ほどからおっしゃっているように、こちらから何かこういう方向性があるのではないかとかという提案をしていくというのがそのまちの社会教育を活性化するためのポイントなのかなということ、2つの研修を通じて感じました。そのようにしていきたいなと思います。

(原嶋議長)

私もそう思います。

(西田生涯学習部長)

そのとおりだと私も思っています。ただ、図書館には図書館協議会、公民館には公民館運営審議会とそれぞれの、社会教育委員から言えば、独立した立場で活動している団体もありますので、その辺との兼ね合いなども考えていただきながら活動していただければありがたいと思います。社会教育委員の会議とは、いわゆる上下関係とかそういう関係にはないものです。

(原嶋議長)

あとはありますか。どうぞ。

(佐野委員)

私たちは、1つは諮問を行政のほうからいろいろなことについて意見を述べてくださいとこれに対する諮問。それとあと、やはり提言といいますか、今、小金井市が抱えている社会教育について、要するに一つの提言をしていくという作業はできるのではないかと思います。ですから、それは前にもちょっとお話ししましたように、今年度はこういうテーマでやっていきましょう。来年度はこういうテーマでと。これは2年1期で1つのテーマを決めてやっていくというのも一つの方法ではないかと思えます。

よく最近、社会教育とは何か。もう一つ、社会教育委員というものは何なのか。そういう一つの問題が大きな問題になっていますよということは常々言われているわけです。ですから、私たちはどういう活動をするのが本当に社会教育委員として重要なのか。そういうものを話し合ってもいいのではないか。お互いに切磋琢磨して、こういうことが社会教育委員に求められているものだ。また、こういうことをやっていくのが社会教育委員の役割だという、その辺のところのお話ができればすばらしいことになるのではないか。低落傾向だと言われているものに対して歯どめをかけて、また向上していく。そういうお互いの意見の交換というのは私は必要ではないかと思っています。

(原嶋議長)

ありがとうございます。

ほかにありますか。どうぞ、石田委員。

(石田委員)

先ほど石原課長のほうからダイジェスト版の話が出たのですが、ダイジェスト版は広報のように市民全体に配る冊数を印刷するのを目標としているのか。私は、これだと厚くて重くて、大変だと常々言っているのですがけれども、このダイジェスト版が各家庭に配られれば、何かしたいと思ったときに一覧表でぱっと見られると思うのです。こういうものが市役所の各課にあって、そこですぐ手にとって持っていかれるような状態になれば、自分のやりたいこと、また学びたいことに対してもぱっと目に入るのではないかと思うので、できれば相当、冊数の印刷を。市報と同じように各家庭に配れて、なおかつ3次計画中になくならないように。増刷するとまた金額も張りますので。結構な数を予定していただけたらなど。

(石原生涯学習課長)

その辺も予算が厳しくて、全部に配るといふようにいかないんで、主要な公共施設とかに置いて、市報でできましたということはPRいたしますので、興味を持った方にお手に取っていただくという冊数になろうかなと思います。

(石田委員)

ただ、生涯学習推進計画のこういうものがあって、それによって推進学習、こういういろいろなものが進められているということを知らない人たちは小金井市にすごく多いのです。ですから、それを知らしめるためには、このダイジェスト版はすごく役に立つのです。ですから、できる限り予算を多くとっていただきたいなど。

(石原生涯学習課長)

もうとってしまって。

(石田委員)

決まっていますか。

(原嶋議長)

昨年3月に大体決まってしまうのですね。要望として。

(石原生涯学習課長)

割とインターネットを今、活用される方がいらっしゃるんで、全戸配布しなくてもよろしいのではないかと思います。

(原嶋議長)

ホームページに挿入することは可能ですね。

(石原生涯学習課長)

そうですね。ホームページには冊子、概要版を載せるつもりです。

(原嶋議長)

知らしめるということは大事なことです。

(石田委員)

小金井市は振り込め詐欺でも結構ワーストに入っていますので、年寄りが多いということですね。だから、インターネットを活用していない年代層が結構多いということです。

(西田生涯学習部長)

生涯学習推進計画がありますよということをお知らせするように工夫をしてみたいと思います。市報もそうですし、ポスターを張ってみるとか、そういうようなものも、そんなに手間がかかることでもないと思います。手づくりでいいわけですから、そのようなこともちょっと考えながら、とにかく今、石田委員が言われたように、あるのだよということをお知らせするのは非常に重要なことだと思いますので、予算が限られてしまっている中で、何かできる工夫があればやっていきたいと思っています。

(原嶋議長)

多くの公共機関とかホームページ、ポスターとか、限られた中でぜひ広く伝播するようにお願いしたいと思います。

(長坂委員)

まとまらないのですけれども、今のお話の流れからいくと、結局、推進計画に基づいて社会教育をやるということになっているのか。網羅的に全部書けば教科書みたいになってしまうのではないですか。それが推進計画なのか。誰からも文句を言われなような形のものをつくって、事足りると考えるのか。本当に政策、市政に影響を及ぼすようなものをつくるのかということによって随分違うと思うのです。総花的なことを書けば、それは優等生かもわからないけれども、何の意味もないですね。小金井らしさと、さっきおっしゃった小金井らしいものが出てこないと思うのです。その辺のことも分けて考えないと、全部書けばいいというものではないでしょうからね。社会教育にかかわるもの。一般的な社会教育と言われているものを全部書けば推進計画としていいということではないと思うのです。その辺が曖昧だと思うのです。

だから、私はまだ全然わかっていないからでたらめを言っているのですけれども、市政に影響があるものをまとめるのか、そうでないのかによって全然違うと思います。それは広報の問題ではないのですよ。何をやるかということもあって、そのことがはっきりしているかどうかによろと思うのです。幾ら網羅されたものを要約されて配られたって、全然焦点が絞られていませんから、市民にとって余りプラスにならない。やるべきことは何なのかということをお知らせしきり決めた上での提言だろうし、位置づけだろうと思います。そこもまだ私は不勉強でわからないのですが、市政にどのくらい影響を及ぼすものか。実効率というのか。

もっとはっきり言うと、市役所の職員の方が働いている。どこの部署の誰にとって重要、プラスになるのかそうでないのかということもあると思うのです。しかも、書いてあってもそれは実行しなくてもいいのかということであれば、書かなくてもいいわけですね。そもそもなくてもいいのではないかということに行きつくと思うので、もうちょっとその辺がわかると仕事がやりいいなと思っているのです。

ということで、まだまとまっていませんよ。私の言わんとしていることは、網羅的なものを、教科書的なことを書けば合格というのか。そんな生ぬるいものではないと思うのです。お金と時間をかけてつくっているのだから、結局、実際実効の上がるものをつくらなければいけないわけですから、それが果たしてそうなっているか。あるいはよそ様のことを気にした一般的なものを考えているのか。その辺によって随分違うと思うのです。だから、もっと実質的なことをやるべきではないかというのが私の考え方なのです。

(石原生涯学習課長)

今の長坂委員からの御指摘ですけれども、第2次の推進計画というのは、市の上位計画、第4次基本構想というものができる前にこれはつくられていたということがございます。そういった中で、理念を出して、4つの基本目標を出して、その下は全て、長坂委員が言われたように並列的に施策が並んでいたというものが第2次の生涯学習推進計画であったかなというところはございます。

第3次の生涯学習推進計画については、基本目標の下に重点プロジェクトというものを掲げたのですけれども、重点プロジェクトは、本年度にできる第4次基本構想の後期基本計画というものが、第3次の推進計画と同じ5年間の計画期間で策定されますので、それと内容を整合しながらつくっていつていきますので、市全体としても推進していくという姿勢が明確ですし、それを受けて第3次の推進計画も、それと整合を図って、よりこう推進すべきということが明らかになるように重点プロジェクトを掲げていきますので、どこは全力を挙げて推進していくべき。あと、ずっと今までもやっていた事業についてはその状況を見ながら継続するなり、少し充実するなり、少し縮小するなりという、並列的に全て並んでいる事業との差別化が図られているので、そういった面では、前期の社会教育委員さんの中で、そういっためり張りをという部分はこちらも取り入れたつもりではございますので、そういうものだということで御承知おきいただきたいと思います。

(長坂委員)

特に市長さんがかわったから意識しているわけだけれども、政治だし、めり張りをつけると思うのです。そうすると、ここできれいごとを書いてもそんなものはほごされてしまうわけで、やるべきこと、もちろん優先順位がいろいろあるわけでしょうから、教育だけが優先順位ではないですね。ほかのいろいろな事業があつての教育でし

ようから、その辺のことをきちんとわきまえた上での推進計画でないとなあにというふうになりかねないなというのが私の言わんとしていることでありまして、わかっていたいただければと思います。もうちょっと説明をしていただくとよくわかるなど。

そういうものだと思いますね。そういうものがつくられて初めてこの委員会が役立つということだと思いのです。

(石原生涯学習課長)

そのような形態に今回から変えているということです。

(長坂委員)

ありがとうございました。

(原嶋議長)

では、次回については幾つか宿題がありますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日はありがとうございました。